

投資事業評価調書（新規）

| | | | | | |
|------|-----------------|---------------------|---------------------|----|----------------|
| 部課室名 | 県土整備部土木局 港湾課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 港灣課 澄田 泰造 (橋丘 真) | 内線 | 4440 (4452) |
|------|-----------------|---------------------|---------------------|----|----------------|

| | | | | | |
|------|------|--------|------------|-------|-------|
| 事業種目 | 海岸事業 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 3.0億円 |
| | | 高潮対策事業 | 江井港海岸 江井地区 | 内地補償費 | - |

| | | | |
|-------|--------------|-------------|-------------|
| 所在地 | 事業採択 予定年度 | 着工予定 年 度 | 完成予定 年 度 |
| 淡路市江井 | H19 | H19 | H21 |

| | |
|--|--|
| 事業の目的 | 事業内容 |
| <p>淡路市江井地区は、瀬戸内海の漁業の宝庫「鹿ノ瀬」に近く県下でも有数の好漁場を有する漁業基地となっている。背後には、多数の住宅が立地しており、また全国の約7割を生産する淡路市の主要な地場産業である線香工場が多数立地していることから、背後地防護の重要性は非常に高くなっている。</p> <p>しかしながら、当地区では、排水施設が未整備であることから台風来襲時等の高潮により毎年のように浸水被害が発生しており、平成16年には台風16号、18号により延べ浸水戸数460戸の甚大な被害が生じたところである。</p> <p>背後地域を高潮時の浸水から防護するため、排水施設の整備を緊急かつ重点的に行い、地域住民の安全と安心を確保する。</p> | <p>排水施設 N = 1式 (樋門及び排水機)</p> <p>[負担割合 国 : 1/2 県 : 1/2]</p> |

| | |
|----------------|--|
| 評価視点 | 評価結果の説明 |
| (1)必要性 | <ul style="list-style-type: none"> ・背後地は地盤高が低く、高潮による浸水被害をたびたび受けており、その対策が喫緊の課題となっていることから、早急に事業着手する必要がある。 (平成16年台風による高潮浸水被害)[江井地区総世帯数：544世帯] 平成16年台風16号：総浸水戸数322戸(うち床上浸水102戸) 台風18号：総浸水戸数138戸(うち床上浸水 42戸) ・本事業を完成させることにより、高潮による浸水被害の恐れがなくなり、住民の安全で安心な生活環境が確保できる。 |
| (2)有効性 ・効率性 | <ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 B / C = 3.85 ・当地区においては 護岸の老朽化による漏水 排水施設の未整備による氾濫 に起因して浸水被害が発生していた。このうち、護岸の老朽化対策については侵食対策事業により平成18年度に完了予定であり、引き続き樋門及び排水機の整備を行うことで、当地区の高潮浸水被害を抜本的に解決するものである。 ・排水施設の整備予定箇所は淡路市所有地に予定しているため、用地買収の手続き等が簡略化され、速やかな事業執行が可能である。 |
| (3)環境適合性 | <ul style="list-style-type: none"> ・水中ポンプとゲートが一体となったポンプゲートを採用することにより、排水施設に必要な用地を少なくでき、地形及び景観など周辺環境に与える影響が小さくなる。 |
| (4)優先性 | <ul style="list-style-type: none"> ・当地区の高潮対策は、県下の他地区と比較して大きく立ち遅れており、早急に整備を行う必要がある。 (平成16年台風16号による浸水実績) 江井322戸 相生239戸 家島176戸 (H16補正で着手) (H17より着手) |